

2022年度 特別研修会のご案内

関東

募集開始日：2022年5月20日（金）

T02

「知財戦略スタッフ育成研修」

申込コード：T02-T1

概要

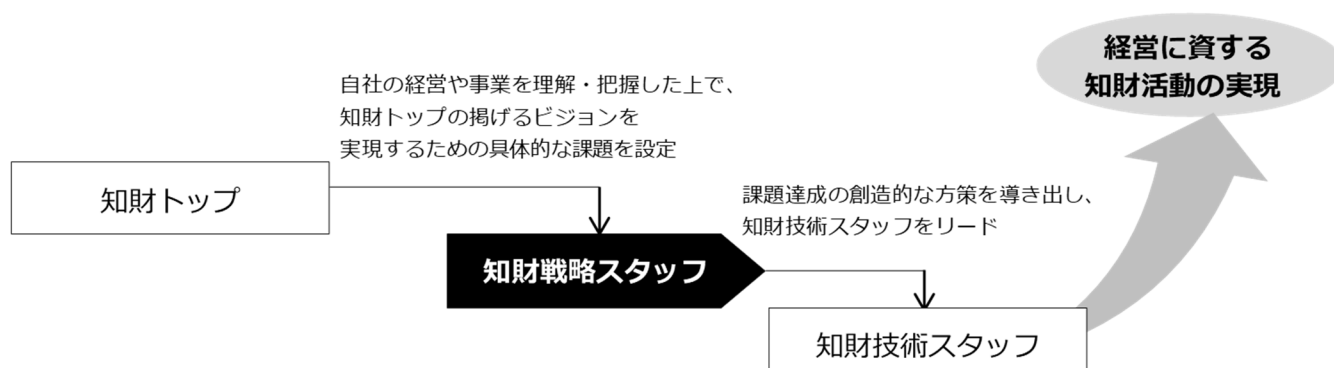
現在の社会は、技術イノベーションや新興国企業の台頭によって産業構造が様変わりし、「第4次産業革命」とも呼ばれる大変革期を迎えています。このような潮流の中で日本企業が熾烈な企業間競争を勝ち抜いていくためには、知財を競争のツールとして上手く活用することが重要であり、その活用のための「経営に資する知財戦略」が有効であることは言うまでもありません。この「経営に資する知財戦略」は自社の経営方針や事業方針と合致したものであることが必要であり、それゆえ、知財戦略を担う「自社の経営や事業を把握した人材」の育成が不可欠となっています。

このような経営に資する知財活動は知財トッパー人で実現できるものではなく、知財トップを戦略立案面および実行面で支える「知財戦略スタッフ」の役割が非常に重要となってきます。この「知財戦略スタッフ」は、知財トップが持っているビジョンと知財実務を行うスタッフ（知財技術スタッフ）とを繋ぐ「架け橋」として、自社の経営や事業を十分に理解・把握したうえで、知財トップのビジョンを実現するための課題を明確にして知財技術スタッフをリードし、更に知財技術スタッフが実務で抱える問題の本質を掴み、知財トップに実行課題として提言する役割を果たします。

このような「知財戦略スタッフ」の育成をめざして、日本知的財産協会では、**知財職務経験が5年以上の40代までの方**を想定し、知財の戦略的課題を扱っている方や、近い将来に知財戦略スタッフとして活躍したいと願っている方を対象とした、従来にない研修会を実施しています。

この研修会では小樽商科大学の籾本智之教授の御協力を得て、経営学の手法を応用し、ケース分析を通じて、**知財戦略そのものよりも、寧ろ知財戦略立案のために必要な「課題の発見」および「創造的解決策の提案」についての能力を養っていただくことを主なねらい**としており、講師および他の研修生との間で、討議や評価を行うことを特徴としております。

各企業における知財部門の責任者の方には、本研修の趣旨を御理解いただき、各企業において今後の戦略活動を担う有為な人材を御推薦頂くように、お願い致します。



研修の概要

1. 研修目的：

自社の経営及び事業を十分に把握・理解したうえで、知財部門のビジョンに対して、具体的な課題及び課題達成のための創造的な方策を導き出すと共に提言できる人材（知財戦略スタッフ）を育成する。

2. 育成をはかる能力：

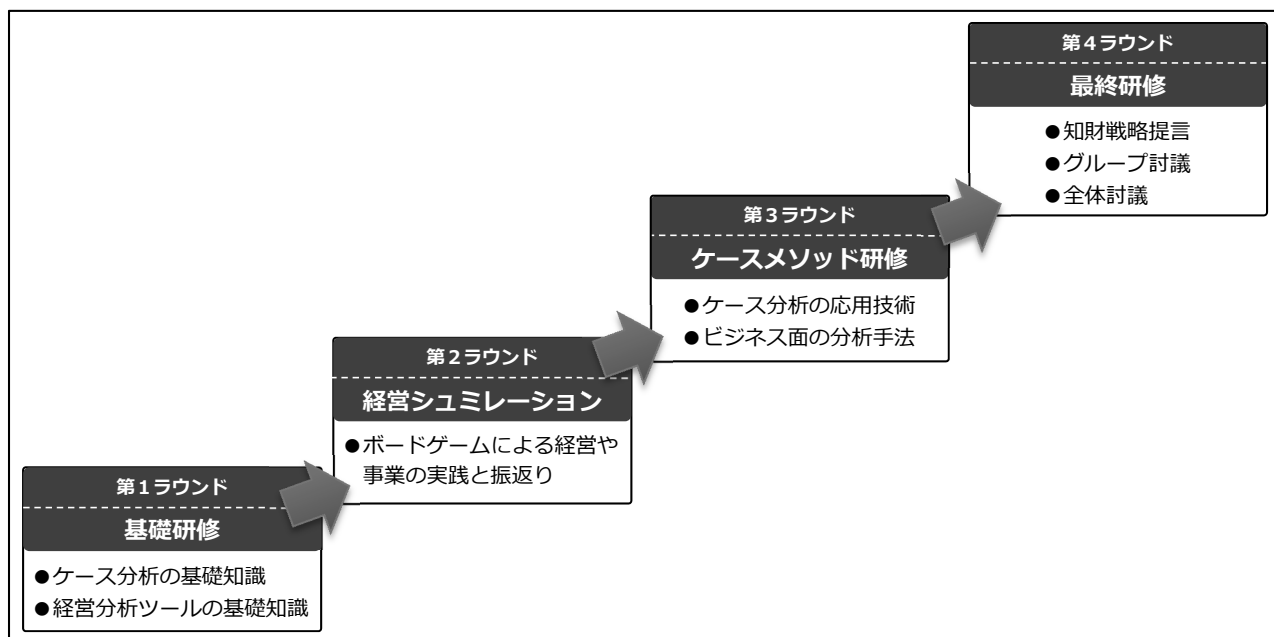
- ① 自社の経営及び事業を、十分に把握し、理解することができる力。
- ② ①に基づき、知財部門のビジョンを実現する上での問題点の把握および課題設定ができる力。
- ③ 解決のためのアプローチやツールを自ら選択できる力。
- ④ ①、②、③に基づき、課題に対して、創造的な解決策を導き出すことができる力。

3. 研修の特徴：

- ① 経営学の分析手法の基礎を学ぶとともに、分析ツールの基本を学ぶ。
- ② 札幌で開催される第2ラウンドで「経営シミュレーション」に参加。ボードゲームによって企業経営の模擬体験を行い、日常の知財業務では学ぶ機会が少ない製造業のオペレーションや会計記録、財務諸表、事業戦略立案等について、実践的に学ぶ。
- ③ ケースメソッドを用いたグループ討議や全体討議を通して、研修生間の相互啓発や互学互修によって深い気づきを得て、多様な視点・視座・視野を学ぶと共に、自らのものの見方や考え方を身につける。

4. 研修の進め方：基本的には、次に示す4ラウンドにより行います。

- ・第1ラウンド 経営学の分析手法およびケースメソッドの基礎を学習、習得
- ・第2ラウンド 「経営シミュレーション」により経営や事業について実践的に理解
- ・第3ラウンド ケースメソッドを使い、経営上、事業上の方針や課題について、研修生相互での議論を実施
- ・第4ラウンド そのケースにおけるバーチャルな知財部門長として経営に資する知財戦略を立案



5. 研修の成果：

知財部門のビジョンに対して具体的な課題及び課題達成のための創造的な方策を提言できる能力が身につく。

受講者の声：・ケースメソッドを通じて、経営戦略をもとにした知財戦略の立て方が理解できた。特に検討した企業の方からコメント・評価を頂けたことは、理解を深めるためにも有意義でした。

- ・経営者の視点で具体的な業務の方向性を考えられるようになった。
- ・学んだケース分析手法を、実際の自社の状況、事業戦略に当てはめて、分析、戦略づくりを試してみたい。
- ・日々の知財業務で、全社戦略における知財戦略の位置づけや、事業戦略と知財戦略の接合を意識するようになった。
- ・経営シミュレーションによって、会社のバリューチェーンや、会社の経営構造（モノの流れとカネの流れ）への理解が深まった。
- ・戦略MGに参加したことで、会計・財務といった普段学ばない知識への理解を深める良い機会になった。他の方法では、これほど短期間に同等の理解までは到達しなかったと思う。

開催日、研修内容・目的、講師、研修会場

<第1ラウンド>

日程	研修内容	講師
8月23日（火） 9:30～17:30	1. オリエンテーション 2. 講義：ケース分析の基本手法 3. ケース：(株)ジズホールディングス ※1<懇談会> 18時30分～	人材育成委員 小樽商科大学大学院 教授 籾本 智之 氏
8月24日（水） 9:30～16:00	1. ケース：(株)ジズホールディングス 2. ケース・プレゼンテーション	小樽商科大学大学院 教授 籾本 智之 氏

1) 研修目的：

- ・ケース分析に関する基礎知識を身につける。
- ・経営分析ツールの基礎知識を身につける。

2) 研修会場：(一社)日本知的財産協会 東京事務所 会議室

*当日は9時15分に集合願います。

※1 新型コロナウイルスの感染状況により、懇談会を中止させていただく場合がございます。

<第2ラウンド>

日程	研修内容	講師
9月10日(土) 9:30~18:00	1. オリエンテーション 2. 基本レクチャー 3. 経営シミュレーション(第1期~第3期)	小樽商科大学大学院 教授 籾本 智之 氏
9月11日(日) 9:30~16:00	1. 経営計画・アクションプラン立案 2. 経営シミュレーション(第4期~第5期) 3. レクチャー	小樽商科大学大学院 教授 籾本 智之 氏

1) 研修目的:

第1ラウンド終了後、学習効果向上を目的として、「経営シミュレーション」に参加して頂きます。

「経営シミュレーション」は、30年以上も前にわが国の某企業で開発された、製造業のバリューチェーン設計・維持と会計記録を組み合わせたボード型意思決定ゲームです。1卓当たり6名で競いながら、自らが社長となって、会社の設立、工場の建設、従業員の雇用、材料の購入、製造、広告、販売、会計、納税、配当までを1人で行っていくものです。このゲームに参加することにより、製造業のオペレーションを会計記録や財務諸表と組み合わせる理解ができ、さらに事業戦略を競い合うことの影響も理解することができます。

T02研修を受講するに当たり、事前に座学で学んだ内容を、経営シミュレーションで実践的に体験して経営を一通り学ぶことができるため、経営や事業に対する理解がより一層深まります。

第2ラウンドは、講師の籾本教授のみならず、既に社会人として活躍されている小樽商科大学ビジネススクール修了生が、講師として多数参加するため、札幌での開催となります。

2) 研修会場: 小樽商科大学札幌サテライト

札幌市中央区北5条西5-7 SAPPORO55ビル3階(電話: 011-218-6377)

* 当日は9時15分に集合願います。

* 第2ラウンドは、現地集合・現地解散になります。交通手段及び宿泊の手配は、各自対応願います。

また、第2ラウンドに関わる交通費、宿泊費等は、各社で負担をお願いします。

* 新型コロナウイルスの感染状況により、会場が変更になる場合がございます。

* 土日の研修になるため、どうしても参加できない場合は、欠席が可能です。

<第2ラウンド振り返り>

日程	研修内容	講師
9月22日(木) 14:30~16:30	1. 経営シミュレーション後の振り返り 2. 知的資産経営	小樽商科大学大学院 教授 籾本 智之 氏

1) 研修目的:

第2ラウンドでの「経営シミュレーション」体験後に、振り返りと知的資産経営について講義していただき、より経営についての理解を深めて頂きます。

- ・「経営シミュレーション」の結果解説
- ・「経営シミュレーション」からの学び解説
- ・知的資産経営解説

2) 研修会場: PCライブ (Zoom)

* 当日は14時15分までに入室願います。

<第3ラウンド>

日程	研修内容	講師
10月18日(火) 9:30~17:00	1. インストラクション 2. ケース: ダイキン工業(株) ※2 <懇談会> 17時30分~	小樽商科大学大学院 教授 籾本 智之 氏
10月19日(水) 9:30~16:00	1. ケース: ダイキン工業(株) 2. 第3ラウンドの進め方(課題設定) ダイキン工業(株)知的財産本部本部長として どのような知財戦略を提言するか 3. 講義: 知財と経営との関わり	小樽商科大学大学院 教授 籾本 智之 氏 キヤノン(株) 池田 敦 氏

1) 研修目的:

- ・ケース分析の応用技術を身につける。
- ・ビジネス面からの分析手法を身につける。

2) 研修会場: (一社)日本知的財産協会 東京事務所 会議室

* 当日は9時15分に集合願います。

※2 新型コロナウイルスの感染状況により、懇談会を中止させていただく場合がございます。

<第4ラウンド>

日程	研修内容	講師
11月15日 (火) 9:30~17:00	1. インストラクション 2. グループ討議 3. 知財戦略立案 ※3<懇談会> 17時30分~	小樽商科大学大学院 教授 旗本 智之 氏
11月16日 (水) 9:30~17:00	1. 全体討議 (知財戦略発表と意見交換) 2. 講義: ダイキン工業(株)の知財戦略 3. 研修の振り返り	小樽商科大学大学院 教授 旗本 智之 氏 ダイキン工業(株) 松本 宗久 氏

1) 研修目的:

- ・知財戦略スタッフに関する提言書作成能力を身につける。
- ・グループ討議、全体討議を通して、提言内容をブラッシュ・アップする能力を養う。

2) 研修会場: (一社)日本知的財産協会 東京事務所 会議室

* 当日は9時15分に集合願います。

※3 新型コロナウイルスの感染状況により、懇談会を中止させていただく場合がございます。

注意事項

新型コロナウイルスの感染状況により、各会場での集合研修を中止し、Zoomを用いたPCライブ研修に変更させていただく場合がございます。

【PCライブ研修（Zoom）について】

- お手持ちのパソコン・タブレット等で、Zoomを使用して研修を行います。Webブラウザで参加される場合は、推奨ブラウザ Google Chrome、Mozilla Firefox、Chromium Edge の利用が推奨されます。
 - 受講申込みいただく前に、以下 URL よりテストサイトへのアクセス確認をお願いします。
【Zoom 接続テストサイト】
<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/115002262083>
アクセスできない場合は受講対象外となりますので、ご了承下さい。
 - グループディスカッションを行う際のツールとして、Microsoft 社の OFFICE ソフト（特に Word、Excel、PowerPoint）を利用可能なパソコン・タブレット等が推奨されます。
 - 有線 LAN を使用するなど、通信環境のよい場所で受講下さい。
 - 開始 15 分前までに、受講者ご本人の ID で協会研修会サービスにログインして、視聴する行をクリックし、Zoom ログイン画面の指示に従い接続ください。ログイン ID は受講票配信メールをご確認ください。
 - PC ライブ研修（Zoom）に変更となった場合、各ラウンドの研修テキストや、第 2 ラウンド「経営シミュレーション」に用いる戦略 MG キットは、ご登録いただいた住所に送付させていただきます。ご登録方法は別途お知らせします。
- ※ 本配信のスマートフォンやデジタルカメラなどによる撮影・録音、動画サイトなどへの無断転載・共有は一切禁止致します。

申込要領

1. 募集定員：24名 論文による選考を行います。
2. 応募資格：下記①および②の要件を満たす方
 - ① 5年以上の知財職務経験がある方（※これからの自己研鑽による成長の可能性に鑑みて、40歳代までの方を想定）。
 - ② 知財の戦略的課題を扱っている方、または近い将来に知財戦略スタッフとして活躍したいと願っている方。
3. 受講料：180,000円（消費税込み）
研修費（講師費用、テキスト料等）、会場費、懇親会費を含みます。但し、前泊費、交通費は含みません。
4. 締切日：2022年7月8日（金）

申込要領（つづき）

5. 申込方法：（①協会研修会サービスでの申込＋②受講者詳細情報登録＋③論文アップロード）

① 協会研修会サービスにて申込をして下さい。 **申込コード：T02-T1**

- ・特別研修（T01、T02、T03、T04）への申込は、受講者1名毎に完了して下さい。
- ・会員会員事務担当者（お申込担当者）、受講者宛に申込確認メールが送信されます。

② 受講者詳細情報をご登録下さい。

協会研修会サービスより受講者詳細情報をご登録下さい（“申込内容の確認・変更”より受講者本人が登録できます）。

※ご登録頂いた個人情報、出欠簿及び受講者名簿、研修統計データとして使用します。

※操作方法は、協会ホームページの「協会研修会サービスご利用ガイド」をご覧ください。

③ 選考論文をアップロード下さい。

- ・協会ホームページの「研修／その他」をクリックし、論文ひな形をダウンロード下さい。
- ・下記テーマについて論文作成の上、協会研修会サービスへアップロード下さい。

論文テーマ：「あなたがこの研修に応募したのはなぜか、また学んだことをあなたは何に活用しようと考えているか」

論文作成の注意点：

- 1) ひな形word形式、A4サイズ1枚以内。
（10.5ポイント以上、1行39文字1頁43行程度を推奨）
- 2) 記述方式は自由。
- 3) 論文ファイル名は「名前（漢字フルネーム）_T02コース論文.docx」として下さい。

6. 受講可否通知

論文選考の結果を、7月下旬頃に会員代表宛にメール致します。なお、選考結果通知後はキャンセルできませんのでご注意下さい。また、論文選考の結果、受講できない場合でも論文は返却しませんので、ご了承下さい。

7. 受講票

初回開講日2週間前までに会員事務担当者（お申込担当者）、受講者宛にメール配信致します。

※万が一受領できなかった場合は、協会研修会サービスより再発行して下さい。

8. 請求書

8月末頃に会員代表宛に郵送致しますので、請求月の翌々月末までにお振込下さい。

9. 問合せ先

一般社団法人日本知的財産協会 人材育成グループ (kaigai-tokubetsu@jipa.or.jp)

募集人数を絞っているため、お断りせざるを得ない場合があることを予めご了承願います。尚、申込みが極めて少ない場合は開催を中止することもあります。この場合は、会員代表経由、受講対象者にご連絡致します。